

## **AXIS T8705 Video Decoder**

**ユーザーマニュアル**

# AXIS T8705 Video Decoder

## 目次

---

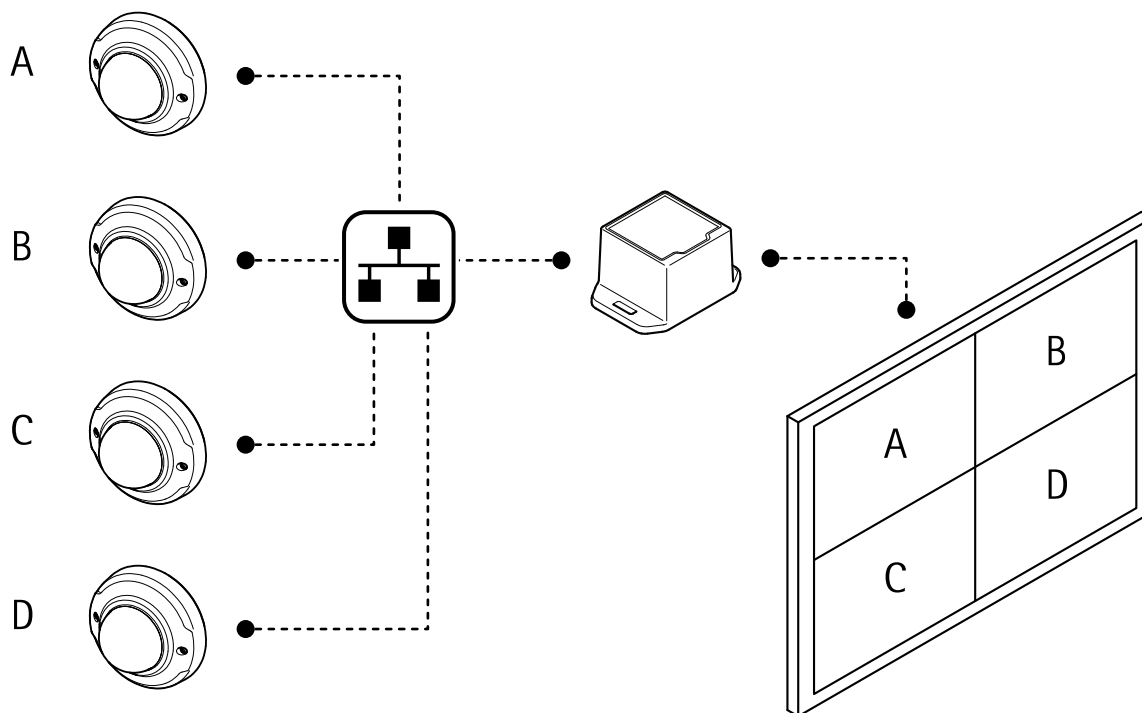
ソリューションの概要 .....	3
はじめに .....	4
ネットワーク上のデバイスを検索する .....	4
装置のWebページを開きます .....	4
Webページの概要 .....	5
デバイスを構成する .....	6
複数のカメラの追加 .....	6
カメラの追加 .....	6
モニターの設定 .....	6
カメラの詳細設定 .....	7
カメラの削除 .....	7
装置をファームウェアバージョン6.0.xにアップグレードする .....	7
装置インターフェース .....	8
ステータス .....	8
ビデオソース .....	9
ディスプレイ .....	10
シヨブ .....	11
システム .....	11
保守 .....	16
設定 .....	16
詳細情報 .....	17
ストリーミングとストレージ .....	17
トラブルシューティング .....	18
工場出荷時の設定にリセットする .....	18
ファームウェアオプション .....	18
現在のファームウェアバージョンの確認 .....	18
ファームウェアのアップグレード .....	18
技術的な問題、ヒント、解決策 .....	19
パフォーマンスに関する一般的な検討事項 .....	20
サポートに問い合わせる .....	20
仕様 .....	21
製品の概要 .....	21
LED .....	21
ボタン .....	21
コネクター .....	21

# AXIS T8705 Video Decoder

## ソリューションの概要

---

### ソリューションの概要



# AXIS T8705 Video Decoder

## はじめに

### はじめに

### ネットワーク上のデバイスを検索する

Windows®でAxisデバイスを探してIPアドレスの割り当てを行う方法については、AXIS IP UtilityまたはAXIS Device Managerを使用してください。いずれのアプリケーションも無料で、[axis.com/support](http://axis.com/support)からダウンロードできます。

IPアドレスの検索や割り当てを行う方法の詳細については、*IPアドレスの割り当てとデバイスへのアクセス方法を参照してください。*

### ブラウザサポート

以下のブラウザでデバイスを使用できます。

	Chrome™	Firefox®	Edge™	Safari®
Windows®	推奨	推奨	✓	
macOS®	推奨	推奨	✓	✓
Linux®	推奨	推奨	✓	
その他のオペレーティングシステム	✓	✓	✓	✓*

\* iOS 15またはiPadOS 15でAXIS OS Webインターフェースを使用するには、**[設定] > [Safari] > [詳細] > [Experimental Features]** に移動し、**[NSURLSession Websocket]** を無効にします。

### 装置のWebページを開きます

1. ブラウザーを開き、Axis装置のIPアドレスまたはホスト名を入力します。  
本製品のIPアドレスが不明な場合は、AXIS IP UtilityまたはAXIS Device Managerを使用して、ネットワーク上で装置を見つけます。
2. ユーザー名とパスワードを入力します。初めて装置にアクセスする場合は、rootパスワードを設定する必要があります。4 ページ*rootアカウントの新しいパスワードを設定する*を参照してください。

### rootアカウントの新しいパスワードを設定する

デフォルトの管理者ユーザー名はrootです。rootアカウントにはデフォルトのパスワードはありません。パスワードは、装置に初めてログインしたときに設定します。

1. パスワードを入力します。安全なパスワードを設定する手順に従います。5 ページ*安全なパスワード*を参照してください。
2. パスワードを再入力して、スペルを確認します。
3. **[Add user (ユーザーの追加)]** をクリックします。

#### 重要

rootアカウントのパスワードを忘れた場合は、18ページ*工場出荷時の設定にリセットする*にアクセスし、説明に従って操作してください。

# AXIS T8705 Video Decoder

## はじめに

---

### 安全なパスワード

#### 重要

Axisデバイスは、最初に設定されたパスワードをネットワーク上で平文で送信します。最初のログイン後にデバイスを保護するために、安全で暗号化されたHTTPS接続を設定してからパスワードを変更してください。

デバイスのパスワードは主にデータおよびサービスを保護します。Axisデバイスは、さまざまなタイプのインストールで使用される可能性があることから、パスワードポリシーを強制しません。

データを保護するために、次のことを強く推奨します。

- 8文字以上のパスワードを使用する (できればパスワード生成プログラムで作成する)。
- パスワードを公開しない。
- 一定の期間ごとにパスワードを変更する (少なくとも年に1回)。

### Webページの概要

このビデオでは、装置インターフェースの概要を説明します。



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

[help.axis.com/?&pid=41938&section=webpage-overview](http://help.axis.com/?&pid=41938&section=webpage-overview)

Axis装置のwebインターフェース

# AXIS T8705 Video Decoder

## デバイスを構成する

---

### デバイスを構成する

#### 複数のカメラの追加

##### 注

カメラウィザードはAxisカメラでのみ機能します。他のブランドのカメラの場合は、1台ずつ追加する必要があります。6 ページカメラの追加を参照してください。

1. [Video sources (ビデオソース)] に移動します。
2. [Add video sources (ビデオソースの追加)] をクリックし、[Step-by-step (ステップバイステップ)] を選択します。
3. [Next] (次へ)] をクリックします。

ウィザードがネットワークからAxisカメラを検索します。

4. [Add credentials (認証情報の追加)] をクリックし、[Name (名前)]、[Username (ユーザー名)]、[Password (パスワード)] を入力します。[Save (保存)] をクリックします。

デコーダには、ビデオストリームにアクセスするためにカメラのユーザー名とパスワードが必要です。デコーダには、複数の認証情報を保存できます。デコーダは、保存されたすべての認証情報を使用して、すべてのカメラにアクセスしようとします。

5. [Next] (次へ)] をクリックします。
6. 追加するカメラを選択し、[Save (保存)] をクリックします。  
デコーダは、保存されたすべての認証情報を使用して、カメラにアクセスしようとします。  
カメラに関するその他の設定にアクセスするには、7 ページカメラの詳細設定を参照してください。

#### カメラの追加

1. [Video sources (ビデオソース)] に移動します。
2. [Add video sources (ビデオソースの追加)] をクリックし、方法として [Manual (手動)] を選択します。
3. [Next] (次へ)] をクリックします。
4. ビデオソースのタイプを選択し、[Next (次へ)] をクリックします。
5. 設定の詳細を入力します。
  - Axisカメラの場合: カメラの名前、IPアドレス、ユーザー名、パスワードを入力します。
  - 他のブランドの場合: 名前、ビデオストリームにアクセスするために使用できるURL、カメラのユーザー名とパスワード、ストリームに使用するコーデックを入力します。
6. [Save (保存)] をクリックします。

カメラに関するその他の設定にアクセスするには、7 ページカメラの詳細設定を参照してください。

#### モニターの設定

1. [Display (ディスプレイ)] に移動します。
2. [Multi mode (マルチモード)] で、以下のいずれかのオプションを選択します。

# AXIS T8705 Video Decoder


## デバイスを構成する

---


- ビデオソースを1つずつ順番に表示する場合は、[Sequencer (シーケンス)] を選択し、各ソースの表示間隔を設定します。
  - 複数のビデオソースを同時に表示する場合は、[Multiview (マルチビュー)] を選択し、レイアウトを選択します。
3. [Video output (ビデオ出力)] で、ディスプレイに対応した解像度とリフレッシュレートを選択します。ディスプレイのマニュアルを参照してください。

## カメラの詳細設定

カメラを追加した後、[Edit (編集)] ビューからカメラの詳細設定にアクセスできます。

1. [Video sources (ビデオソース)] に移動します。
2. ビデオソースを選択します。
3.  をクリックし、[Edit video source (ビデオソースの編集)] をクリックします。

## カメラの削除

1. [Video sources (ビデオソース)] に移動します。
2. 削除するカメラを見つけます。
3.  をクリックし、[Delete video source (ビデオソースの削除)] をクリックします。

## 装置をファームウェアバージョン6.0.xにアップグレードする

装置をV6.0.xにアップグレードするには、まずV5.1.8.5にアップグレードする必要があります。以下のファイルが必要です。

- ファームウェアT8705\_V5.1.8.5.bin (ブリッジファームウェア)
- ファームウェアT8705\_V6.0.x.bin

[Maintenance (メンテナンス) > Firmware upgrade (ファームウェアのアップグレード)] に移動し、[Upgrade (アップグレード)] をクリックします。表示される手順に従います。

- V5.1.8.2またはV5.1.8.4からV5.1.8.5へのアップグレードには約10分かかります。
- V5.1.8.5からV6.0.xへのアップグレードには約15分かかります。

### ファームウェアのアップグレードに失敗した場合









1. レポートを [axis.com/support](http://axis.com/support) に送信してください。その際、装置のMACアドレスに関する情報をレポートに含めてください。
2. 付属のwicファイル (decoder-image-prod-6.0.x.wic.gz) を解凍し、SDカードに保存します。
3. SDカードをSDカードリーダーに挿入します。wicファイルを開き、表示される手順に従ってファームウェアをアップグレードします。

# AXIS T8705 Video Decoder

## 装置インターフェース

### 装置インターフェース

本装置のインターフェースにアクセスするには、Webブラウザで装置のIPアドレスを入力します。

-  メインメニューの表示/非表示を切り取ります。
-  製品のヘルプにアクセスします。
-  言語を変更します。
-  ライトテーマまたはダークテーマを設定します。
-  ユーザーメニューは以下を含みます。
  - ログインしているユーザーに関する情報。
  -  **Change user (ユーザーの変更)**: 現在のユーザーをログアウトさせ、新しいユーザーにログインさせます。
  -  **Log out (ログアウト)**: 現在のユーザーをログアウトさせます。
-  コンテキストメニューは以下を含みます。
  - Analytics data (分析データ)**: 個人以外のブラウザデータの共有に同意します。
  - フィードバック**: フィードバックを共有して、ユーザーエクスペリエンスの向上に役立てます。
  - 法的情報**: Cookieおよびライセンスについての情報を表示します。
  - 詳細情報**: ファームウェアのバージョンとシリアル番号を含む装置情報を表示します。

### ステータス

**RAM use (RAMの使用)**: 使用されているRAMの割合。

**CPU use (CPUの使用)**: 使用されているCPUの割合。

**GPU use (GPUの使用)**: 使用されているGPUの割合。

**GPU bus use (GPUバスの使用)**: 使用されているGPUバスの割合。

**Decoding process (デコーディングプロセス)**: デコーディングプロセスの現在のステータス、[*Running (実行中)*] または [*Stopped (停止)*]。

**IP address (IPアドレス)**: 装置のIPアドレス。

**Date and time (日付と時刻)**: 装置の日付と時刻。



# AXIS T8705 Video Decoder

## 装置インターフェース

---

### ビデオソース

**Name (名前):** ビデオソースの名前。

**Type (タイプ):** ビデオソースのタイプ、[Axis] または [Generic (一般)]。

**Add video sources (ビデオソースの追加):** 新しいビデオソースを作成します。2つの異なる方法を使用できます。

- **Step-by-step (ステップバイステップ):** ウィザードの手順に従ってAxis装置を追加します。
- **Manual (手動):** 手動で装置を追加します。



コンテキストメニューは以下を含みます。

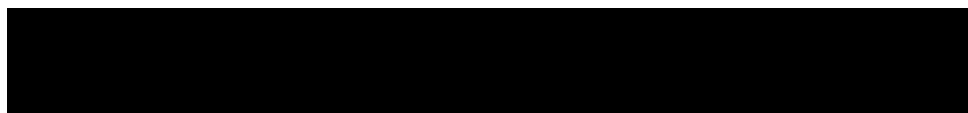
**Edit video source (ビデオソースの編集):** ビデオソースのプロパティを編集します。

# AXIS T8705 Video Decoder

## 装置インターフェース

Delete video source (ビデオソースの削除): ビデオソースを削除します。

### ディスプレイ



クリックして、シーケンスを設定します。シーケンスを使用して、さまざまなビューを表示する順序を決定できます。

**+** クリックして、新しいビューを追加します。必要な数だけビューを追加できます。

**Start sequence (シーケンスの開始):** クリックして、シーケンスをオンにします。

**View settings (表示の設定):**

- **Name (名前):** ビューの名前を入力します。
- **継続時間:** ビューを順番に表示する時間を決定します。
- **Layout (レイアウト):** 画面レイアウトを選択し、各装置を表示する位置を決定します。

**Resolution (解像度):** ビューに使用する解像度を選択します。

# AXIS T8705 Video Decoder

## 装置インターフェース

### ジョブ

**+** Add job (ジョブの追加): クリックして、新しいジョブを追加します。

Name (名前): ジョブの一意の名前を入力します。

Type (タイプ): タイプを選択します。

- Restart decoding (デコーディングの再開): 特定の時間にデコーディングを再開します。
- Reboot system (システムの再起動): 特定の時間にシステムを再起動します。
- NTP sync (NTP同期): 特定の時間にNTPサーバーを再同期します。

Recurrence (繰り返し): システムがいつジョブを実行するかを選択します。

- Minutely (分ごと): システムは一定の間隔で、たとえば15分ごとに、ジョブを実行します。
- Hourly (時間ごと): システムは一定の間隔で、たとえば2時間15分ごとに、ジョブを実行します。
- Daily (毎日): システムは毎日、一定の間隔でジョブを実行します。
- Weekdays (平日): システムは特定の日に、一定の間隔でジョブを実行します。



コンテキストメニューは以下を含みます。

Delete (削除): ジョブを削除します。

### システム

#### 日付と時刻

時刻の形式は、Webブラウザの言語設定によって異なります。

#### 注

装置の日付と時刻をNTPサーバーと同期することをお勧めします。

Synchronization (同期): 装置の日付と時刻を同期するオプションを選択します。

- Automatic date and time (manual NTS KE servers) (日付と時刻の自動設定 (手動NTS KEサーバー)): DHCPサーバーに接続された安全なNTPキー確立サーバーと同期します。
  - Manual NTS KE servers (手動NTS KEサーバー): 1台または2台のNTPサーバーのIPアドレスを入力します。2台のNTPサーバーを使用すると、両方からの入力に基づいて装置が同期し、時刻を調整します。
- Automatic date and time (NTP servers using DHCP) (日付と時刻の自動設定 (DHCPを使用したNTPサーバー)): DHCPサーバーに接続されたNTPサーバーと同期します。
  - Fallback NTP servers (フォールバックNTPサーバー): 1台または2台のフォールバックサーバーのIPアドレスを入力します。
- Automatic date and time (manual NTP servers) (日付と時刻の自動設定 (手動NTPサーバー)): 選択したNTPサーバーと同期します。
  - Manual NTP servers (手動NTPサーバー): 1台または2台のNTPサーバーのIPアドレスを入力します。2台のNTPサーバーを使用すると、両方からの入力に基づいて装置が同期し、時刻を調整します。
- Custom date and time (日付と時刻のカスタム設定): 日付と時刻を手動で設定する。[Get from system (システムから取得)] をクリックして、コンピューターまたはモバイル装置から日付と時刻の設定を1回取得します。

タイムゾーン: 使用するタイムゾーンを選択します。夏時間と標準時間に合わせて、時刻が自動的に調整されます。

#### 注

システムは、すべての録画、ログ、およびシステム設定で日付と時刻の設定を使用します。

# AXIS T8705 Video Decoder

## 装置インターフェース

---

### ネットワーク

#### IPv4

**Assign IPv4 automatically (IPv4自動割り当て):** ネットワークルーターに自動的に装置にIPアドレスを割り当てさせる場合に選択します。ほとんどのネットワークでは、自動IP (DHCP) をお勧めします。

**IP address (IPアドレス):** 装置の固有のIPアドレスを入力します。孤立したネットワークの内部であれば、アドレスの重複がないことを条件に、静的なIPアドレスを自由に割り当てることができます。アドレスの重複を避けるため、静的なIPアドレスを割り当てる前に、ネットワーク管理者に連絡することを推奨します。

**Subnet mask (サブネットマスク):** サブネットマスクを入力して、ローカルエリアネットワーク内部のアドレスを定義します。ローカルエリアネットワークの外部のアドレスは、ルーターを経由します。

**Router (ルーター):** さまざまなネットワークやネットワークセグメントに接続された装置を接続するために使用するデフォルトルーター(ゲートウェイ)のIPアドレスを入力します。

#### IPv6

**Assign IPv6 automatically (IPv6自動割り当て):** IPv6をオンにし、ネットワークルーターに自動的に装置にIPアドレスを割り当てさせる場合に選択します。

#### Hostname (ホスト名)

**Assign hostname automatically (ホスト名自動割り当て):** ネットワークルーターに自動的に装置にホスト名を割り当てさせる場合に選択します。

**Hostname (ホスト名):** 装置にアクセスする別の方法として使用するホスト名を手動で入力します。ホスト名は、サーバーレポートとシステムログで使用されます。使用できる文字は、A~Z、a~z、0~9、-、\_です。

#### DNS servers (DNSサーバー)

**Assign DNS automatically (DNS自動割り当て):** ネットワークルーターに自動的に装置に検索ドメインとDNSサーバーアドレスを割り当てさせる場合に選択します。ほとんどのネットワークでは、自動DNS (DHCP) をお勧めします。

**Search domains (検索ドメイン):** 完全修飾でないホスト名を使用する場合は、[Add search domain (検索ドメインの追加)] をクリックし、装置が使用するホスト名を検索するドメインを入力します。

**DNS servers (DNSサーバー):** [Add DNS server (DNSサーバーを追加)] をクリックして、DNSサーバーのIPアドレスを入力します。このサーバーは、ホスト名からローカルネットワーク上のIPアドレスへの変換を行います。

#### HTTPおよびHTTPS

# AXIS T8705 Video Decoder

## 装置インターフェース

次によってアクセスを許可: ユーザーが [HTTP]、[HTTPS]、または [HTTP and HTTPS (HTTPおよびHTTPS)] プロトコルを介して装置に接続することを許可するかどうかを選択します。

HTTPSは、ユーザーからのページ要求とWebサーバーから返されたページの暗号化を提供するプロトコルです。暗号化された情報の交換は、サーバーの真正性(サーバーが本物であることを)を保証するHTTPS証明書の使用により制御されます。

装置でHTTPSを使用するには、HTTPS証明書をインストールする必要があります。[System (システム) > Security (セキュリティ)] に移動し、証明書の作成とインストールを行います。

### 注

暗号化されたWebページをHTTPS経由で表示する場合、特に初めてページを要求するときに、パフォーマンスが低下することがあります。

**HTTP port (HTTPポート):** 使用するHTTPポートを入力します。ポート80または1024~65535の範囲の任意のポートを使用できます。管理者としてログインしている場合は、1~1023の範囲の任意のポートを入力することもできます。この範囲のポートを使用すると、警告が表示されます。

**HTTPS port (HTTPSポート):** 使用するHTTPSポートを入力します。ポート443または1024~65535の範囲の任意のポートを使用できます。管理者としてログインしている場合は、1~1023の範囲の任意のポートを入力することもできます。この範囲のポートを使用すると、警告が表示されます。

**Certificate (証明書):** 装置のHTTPSを有効にする証明書を選択します。

## Friendly name (フレンドリ名)

**Bonjour®:** オンにしてネットワーク上で自動検出を可能にします。

**Bonjour name (Bonjour名):** ネットワークで表示されるフレンドリ名を入力します。デフォルト名は装置名とMACアドレスです。

**Use UPnP® (UPnPを使用):** オンにしてネットワーク上で自動検出を可能にします。

**UPnP name (UPnP名):** ネットワークで表示されるフレンドリ名を入力します。デフォルト名は装置名とMACアドレスです。

## セキュリティ

### 証明書

証明書は、ネットワーク上の装置の認証に使用されます。この装置は、次の2種類の証明書をサポートしています。

- **Client/server Certificates (クライアント/サーバー証明書)**

クライアント/サーバー証明書は装置のIDを認証します。自己署名証明書と認証局 (CA) 発行の証明書のどちらでも使用できます。自己署名証明書による保護は限られています。認証局発行の証明書を取得するまで利用できます。

- **CA証明書**

CA証明書はピア証明書の認証に使用されます。たとえば、装置をIEEE 802.1Xで保護されたネットワークに接続するときに、認証サーバーのIDを検証するために使用されます。装置には、いくつかのCA証明書がプリインストールされています。

以下の形式がサポートされています:

- 証明書形式: .PEM、.CER、.PFX
- 秘密鍵形式: PKCS#1、PKCS#12

### 重要

装置を工場出荷時の設定へのリセットを行うと、すべての証明書が削除されます。プリインストールされたCA証明書は、再インストールされます。

# AXIS T8705 Video Decoder

## 装置インターフェース



リスト内の証明書をフィルターします。



**証明書の追加:** クリックして証明書を追加します。



コンテキストメニューは以下を含みます。

- **Certificate information (証明書情報):** インストールされている証明書のプロパティを表示します。
- **Delete certificate (証明書の削除):** 証明書の削除。
- **Create certificate signing request (証明書の署名要求を作成する):** デジタルID証明書を申請するために登録機関に送信する証明書署名要求を作成します。

### IEEE 802.1x

IEEE 802.1xはポートを使用したネットワークへの接続を制御するIEEEの標準規格で、有線およびワイヤレスのネットワーク装置を安全に認証します。IEEE 802.1xは、EAP (Extensible Authentication Protocol) に基づいています。

IEEE 802.1xで保護されているネットワークにアクセスするネットワーク装置は、自己の証明を行う必要があります。認証は認証サーバーによって行われます。認証サーバーは通常、FreeRADIUSやMicrosoft Internet Authentication ServerといったRADIUSサーバーです。

#### 証明書

CA証明書なしで設定されている場合、サーバー証明書の検証は無効になり、装置は接続先のネットワークに関係なく自己の認証を試みます。

証明書を使用する場合、Axisの実装では、装置と認証サーバーは、EAP-TLS (Extensible Authentication Protocol - Transport Layer Security) を使用してデジタル証明書で自己を認証します。

装置が証明書で保護されたネットワークにアクセスできるようにするには、署名されたクライアント証明書を装置にインストールする必要があります。

**Client certificate (クライアント証明書):** IEEE 802.1xを使用するクライアント証明書を選択します。認証サーバーは、この証明書を使用してクライアントの身元を確認します。

**CA certificate (CA証明書):** 認証サーバーの身元を確認するためのCA証明書を選択します。証明書が選択されていない場合、装置は、接続されているネットワークに関係なく自己を認証しようとします。

**EAP identity (EAP 識別情報):** クライアント証明書に関連付けられているユーザーIDを入力します。

**EAPOL version (EAPOL のバージョン):** ネットワークスイッチで使用されるEAPOLのバージョンを選択します。

**Use IEEE 802.1x (IEEE 802.1x を使用):** IEEE 802.1xプロトコルを使用する場合に選択します。

# AXIS T8705 Video Decoder

## 装置インターフェース

### ユーザー

**+** **Add user (ユーザーを追加):** クリックして、新規ユーザーを追加します。最大100人のユーザーを追加できます。

**Username (ユーザー名):** 一意のユーザー名を入力します。

**New password (新しいパスワード):** ユーザーのパスワードを入力します。パスワードの長は1~64文字である必要があります。印刷可能なASCII文字(コード32~126)のみを使用できます。これには、英数字、句読点、および一部の記号が含まれます。

**Repeat password (パスワードの再入力):** 同じパスワードを再び入力します。

**Role (役割):**

- **Administrator (管理者):** すべての設定へ全面的なアクセス権をもっています。管理者は他のユーザーを追加、更新、削除もできます。
- **Operator (オペレーター):** 次の操作を除く、すべての設定へのアクセス権があります。
  - すべての [System settings (システム設定)]。
- **Viewer (閲覧者):** 次のアクセス権があります。
  - ステータス
  - ディスプレイ

**⋮** コンテキストメニューは以下を含みます。

**Update user (ユーザーの更新):** ユーザーのプロパティを編集します。

**ユーザーの削除 (Delete user):** ユーザーを削除します。rootユーザーは削除できません。

### ログ

#### レポートとログ

#### Reports (レポート)

- **View the device server report (装置サーバーレポートを表示):** クリックして、製品ステータスに関する情報をポップアップウィンドウに表示します。アクセスログは自動的にサーバーレポートに含まれます。
- **Download the device server report (装置サーバーレポートをダウンロード):** クリックしてサーバーレポートをダウンロードします。これによって、UTF-8形式で作成された完全なサーバーレポートのテキストファイルと、現在のライブビュー画像のスナップショットを収めた.zipファイルが生成されます。サポートに連絡する際には、必ずサーバーレポート.zipファイルを含めてください。

#### ログ

- **View the system log (システムログを表示):** 装置の起動、警告、重要なメッセージなど、システムイベントに関する情報をクリックして表示します。
- **View the access log (アクセスログを表示):** 誤ったログインパスワードの使用など、本装置への失敗したアクセスをすべてクリックして表示します。

### PLAIN設定

[Plain Config] (PLAIN設定) は、Axis装置の設定経験のある上級ユーザー向けのページです。ほとんどのパラメーターは、このページから設定、編集することができます。

# AXIS T8705 Video Decoder

## 装置インターフェース

### 保守

**Restart (再起動):** 装置を再起動します。再起動しても、現在の設定には影響がありません。実行中のアプリケーションは自動的に再起動されます。

**Restore (リストア):** ほとんどの設定が工場出荷時の値に戻ります。その後、装置を再設定し、イベントとPTZプリセットを再作成する必要があります。

#### 重要

リストア後に保存される設定は以下の場合のみです。

- ブートプロトコル (DHCPまたは静的)
- 静的なIPアドレス
- Default router (デフォルトルーター)
- Subnet mask (サブネットマスク)
- 802.1X settings (802.1Xの設定)
- O3C settings (O3Cの設定)

**Factory default (工場出荷時設定):** すべての設定を工場出荷時の値に戻します。その後、装置にアクセス可能なIPアドレスをリセットする必要があります。

#### 注

検証済みのファームウェアのみを装置にインストールするために、すべてのAxisの装置ファームウェアにデジタル署名が付け加えられます。これによって、Axis装置の全体的なサイバーセキュリティの最低ラインがさらに上がります。詳細については、[axis.com](http://axis.com)でホワイトペーパー「署名済みファームウェア、セキュアブート、およびプライベートキーのセキュリティ」を参照してください。

**Firmware upgrade (ファームウェアのアップグレード):** 新しいファームウェアバージョンにアップグレードします。新しいファームウェアには、機能の改善やバグの修正、まったく新しい機能が含まれています。常に最新のリリースを使用することをお勧めします。最新のリリースをダウンロードするには、[axis.com/support](http://axis.com/support)に移動します。

アップグレード時には、以下の3つのオプションから選択できます。

- **Standard upgrade (標準アップグレード):** 新しいファームウェアバージョンにアップグレードします。
- **Factory default (工場出荷時設定):** アップグレードすると、すべての設定が工場出荷時の値に戻ります。このオプションを選択すると、アップグレード後に以前のファームウェアバージョンに戻すことはできません。
- **Autorollback (オートロールバック):** 設定した時間内にアップグレードを行い、アップグレードを確認します。確認しない場合、装置は以前のファームウェアバージョンに戻されます。

**Firmware rollback (ファームウェアのロールバック):** 以前にインストールされたファームウェアバージョンに戻します。

### 設定

**設定ファイルのダウンロード:** 設定ファイルに含める設定を選択します。このファイルには、証明書や秘密鍵は含まれません。

**Upload configuration file (設定ファイルのアップロード):** アップロードされた設定ファイルは、同じエリア内の既存の設定を上書きします。例: このファイルにビデオに関する情報しか含まれていない場合、システム設定には影響しません。設定ファイルには、証明書や秘密鍵は含まれていません。デフォルトの自己署名証明書以外の証明書が必要な場合は、手動で設定する必要があります。



# AXIS T8705 Video Decoder

## 詳細情報

---

### 詳細情報

## ストリーミングとストレージ

### ビデオ圧縮形式

使用する圧縮方式は、表示要件とネットワークのプロパティに基づいて決定します。以下から選択を行うことができます。

#### Motion JPEG

Motion JPEGまたはMJPEGは、個々のJPEG画像の連続で構成されたデジタルビデオシーケンスです。これらの画像は、十分なレートで表示、更新されることで、連続的に更新される動きを表示するストリームが作成されます。人間の目に動画として認識されるためには、1秒間に16以上の画像を表示するフレームレートが必要になります。フルモーションビデオは、1秒間に30フレーム (NTSC) または25フレーム (PAL) で動画と認識されます。

Motion JPEGストリームは、かなりの帯域幅を消費しますが、画質に優れ、ストリームに含まれるすべての画像にアクセスできます。

#### H.264またはMPEG-4 Part 10/AVC

##### 注

H.264はライセンスされた技術です。このAxis製品には、H.264閲覧用のクライアントライセンスが1つ添付されています。ライセンスされていないクライアントのコピーをインストールすることは禁止されています。ライセンスを追加購入するには、Axisの販売代理店までお問い合わせください。

H.264を使用すると、画質を損なうことなく、デジタル映像ファイルのサイズを削減でき、Motion JPEG形式の場合と比較すると80%以上、従来のMPEG形式と比較すると50%以上を削減できます。そのため、ビデオファイルに必要なネットワーク帯域幅やストレージ容量が少なくなります。また、別の見方をすれば、より優れた映像品質が同じビットレートで得られることとなります。

# AXIS T8705 Video Decoder

## トラブルシューティング

### トラブルシューティング

#### 工場出荷時の設定にリセットする

##### 重要

工場出荷時の設定へのリセット機能は慎重に使用してください。工場出荷時の設定へのリセットを行うと、IPアドレスを含むすべての設定が工場出荷時の値にリセットされます。

1. [Maintenance (メンテナンス)] > [Factory default (工場出荷時の設定)] に移動します。
2. [Default (デフォルト)] をクリックします。
3. [Restore all (すべてリストア)] をクリックします。

再起動ボタンで、パラメーターを工場出荷時の設定に戻すこともできます。装置の電源をオンにした状態で、再起動ボタンを10秒間長押ししてください。

#### ファームウェアオプション

Axisは、アクティブトラックまたは長期サポート (LTS) トラックのどちらかによって、製品のファームウェア管理を提供します。アクティブトラックでは、最新の製品機能すべてに常時アクセスできますが、LTSトラックの場合、バグフィックスやセキュリティ更新に重点を置いた定期的リリースが提供される固定プラットフォームを使用します。

最新の機能にアクセスする場合や、Axisのエンドツーエンドシステム製品を使用する場合は、アクティブトラックのファームウェアを使用することをお勧めします。最新のアクティブトラックに対して継続的な検証が行われないサードパーティの統合を使用する場合は、LTSトラックをお勧めします。LTSにより、大きな機能的な変更や既存の統合に影響を与えることなく、サイバーセキュリティを維持することができます。Axis製品のファームウェア戦略の詳細については、[axis.com/support/firmware](https://axis.com/support/firmware)を参照してください。

#### 現在のファームウェアバージョンの確認

ファームウェアは、ネットワーク装置の機能を決定するソフトウェアです。問題のトラブルシューティングを行う際は、まず現在のファームウェアバージョンを確認することをお勧めします。最新のファームウェアバージョンには、特定の問題の修正が含まれていることがあります。

現在のファームウェアを確認するには、以下の手順に従います。

1. 装置インターフェース > [Status (ステータス)] に移動します。
2. [Device info (装置情報)] でファームウェアバージョンを確認してください。

#### ファームウェアのアップグレード

##### 重要

事前設定済みの設定とカスタム設定は、ファームウェアのアップグレード時に保存されます (その機能が新しいファームウェアで利用できる場合)。ただし、この動作をAxis Communications ABが保証しているわけではありません。

##### 重要

アップグレードプロセス中は、装置を電源に接続したままにしてください。

# AXIS T8705 Video Decoder

## トラブルシューティング

### 注

Active (アクティブ)トラックから最新のファームウェアをダウンロードして装置をアップグレードすると、製品に最新機能が追加されます。ファームウェアを更新する前に、ファームウェアとともに提供されるアップグレード手順とリリースノートを必ずお読みください。最新ファームウェアおよびリリースノートについては、[axis.com/support/firmware](http://axis.com/support/firmware)を参照してください。

1. ファームウェアファイルをコンピューターにダウンロードします。ファームウェアファイルは[axis.com/support/firmware](http://axis.com/support/firmware)から無料で入手できます。
2. 装置に管理者としてログインします。
3. **[Maintenance (メンテナンス) > Firmware upgrade (ファームウェアのアップグレード)]**に移動し、**[Upgrade (アップグレード)]**をクリックします。

アップグレードが完了すると、製品は自動的に再起動します。

AXIS Device Managerを使用すると、複数の装置を同時にアップグレードできます。詳細については、[axis.com/products/axis-device-manager](http://axis.com/products/axis-device-manager)をご覧ください。

## 技術的な問題、ヒント、解決策

このページで解決策が見つからない場合は、[axis.com/support](http://axis.com/support)のトラブルシューティングセクションに記載されている方法を試してみてください。

### ファームウェアのアップグレードで問題が発生する

ファームウェアのアップグレード失敗	ファームウェアのアップグレードに失敗した場合、デバイスは以前のファームウェアを再度読み込みます。最も一般的な理由は、間違ったファームウェアファイルがアップロードされた場合です。デバイスに対応したファームウェアファイル名であることを確認し、再試行してください。
ファームウェアのアップグレード後に問題が発生する	ファームウェアのアップグレード後に問題が発生する場合は、 <b>[Maintenance (メンテナンス)]</b> ページから、以前にインストールされたバージョンにロールバックします。

### IPアドレスの設定で問題が発生する

デバイスが別のサブネット上にある	デバイス用のIPアドレスと、デバイスへのアクセスに使用するコンピューターのIPアドレスが異なるサブネットにある場合は、IPアドレスを設定することはできません。ネットワーク管理者に連絡して、適切なIPアドレスを取得してください。
IPアドレスが別のデバイスで使用されている	Axisデバイスをネットワークから切断します。pingコマンドを実行します (コマンドウィンドウまたはDOSウィンドウで、pingコマンドとデバイスのIPアドレスを入力します)。 <ul style="list-style-type: none"><li>• もし、「Reply from &lt;IPアドレス&gt;: bytes=32; time=10...」という応答を受取った場合は、ネットワーク上の別のデバイスでそのIPアドレスがすでに使われている可能性があります。ネットワーク管理者から新しいIPアドレスを取得し、デバイスを再度インストールしてください。</li><li>• もし、「Request timed out」が表示された場合は、AxisデバイスでそのIPアドレスを使用できます。この場合は、すべてのケーブル配線をチェックし、デバイスを再度インストールしてください。</li></ul>
同じサブネット上の別のデバイスとIPアドレスが競合している可能性がある	DHCPサーバーによって動的アドレスが設定される前は、Axisデバイスは静的IPアドレスを使用します。つまり、デフォルトの静的IPアドレスが別の装置でも使用されていると、装置へのアクセスに問題が発生する可能性があります。

# AXIS T8705 Video Decoder

## トラブルシューティング

### ブラウザから装置にアクセスできない

ログインできない	HTTPSが有効なときは、正しいプロトコル (HTTPまたはHTTPS) を使用してログインしてください。ブラウザのアドレスフィールドに、手動で「http」または「https」と入力する必要がある場合があります。  rootユーザーのパスワードを忘れた場合は、デバイスを工場出荷時の設定にリセットする必要があります。18ページ工場出荷時の設定にリセットするを参照してください。
DHCPによってIPアドレスが変更された	DHCPサーバーから取得したIPアドレスは動的なアドレスであり、変更されることがあります。IPアドレスが変更された場合は、AXIS IP UtilityまたはAXIS Device Managerを使用してデバイスのネットワーク上の場所を特定してください。装置のモデルまたはシリアル番号、あるいはDNS名 (設定されている場合) を使用して装置を識別します。  必要に応じて、静的IPアドレスを手動で割り当てることができます。手順については、 <a href="http://axis.com/support">axis.com/support</a> を参照してください。
IEEE 802.1X使用時の証明書エラー	認証を正しく行うには、Axis装置の日付と時刻をNTPサーバーと同期させなければなりません。[System (システム) > Date and time (日付と時刻)] に移動します。

## パフォーマンスに関する一般的な検討事項

最も重要な検討事項には次のようなものがあります。

- ・ 画像解像度が高い、または圧縮レベルが低いと、画像のファイルサイズが増大し、結果的に帯域幅に影響を及ぼします。
- ・ 多数のクライアントによるMotion JPEGまたはユニキャストH.264のアクセスは、帯域幅に影響を及ぼします。
- ・ 様々なクライアントが様々な解像度や圧縮方式が異なるストリームを同時に閲覧すると、フレームレートと帯域幅の両方に影響を及ぼします。

フレームレートを高く維持するために、できる限り同一ストリームを使用してください。ストリームプロファイルを使用すると、ストリームの種類が同一であることを確認できます。

- ・ Motion JPEGおよびH.264のビデオストリームに同時にアクセスすると、フレームレートと帯域幅の両方に影響を及ぼします。
- ・ イベント設定を多用すると、製品のCPU負荷に影響が生じ、その結果、フレームレートに影響します。
- ・ 特に、Motion JPEGのストリーミングでは、HTTPSを使用するとフレームレートが低くなる場合があります。
- ・ 貧弱なインフラによるネットワークの使用率が高いと帯域幅に影響します。
- ・ パフォーマンスの低いクライアントコンピューターで閲覧するとパフォーマンスが低下し、フレームレートに影響します。

## サポートに問い合わせる

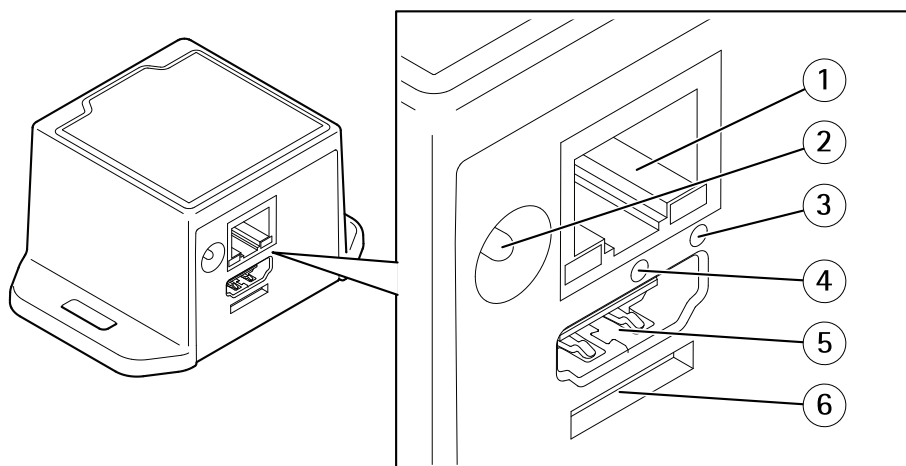
[axis.com/support](http://axis.com/support)でサポートに問い合わせます。

# AXIS T8705 Video Decoder

## 仕様

### 仕様

### 製品の概要



- 1 ネットワークコネクタ
- 2 電源コネクタ
- 3 ネットワークLED
- 4 再起動ボタン
- 5 HDMIコネクタ
- 6 オペレーティングシステム用に予約済み

### LED

ネットワークLED	説明
赤	ネットワークパケットを送受信した場合、点滅します。
消灯	ネットワーク接続なし。

### ボタン

#### コントロールボタン

コントロールボタンは、以下の用途で使用します。

- ・ 製品を工場出荷時の設定にリセットする。18ページ工場出荷時の設定にリセットするを参照してください。

### コネクタ

#### HDMIコネクタ

ディスプレイやパブリックビューモニターへの接続には、HDMI™を使用します。

# AXIS T8705 Video Decoder

## 仕様

---

### ネットワークコネクタ

RJ45イーサネットコネクタ。

### 電源コネクタ

DCコネクタ。付属のアダプターを使用します。

